

肢体不自由教育部門 小学部 重複 7 組 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和 6 年 2 月 9 日(金) 第 6 校時 13 : 35-14 : 20

1 単元名 「初春ってどんな季節」～植物を観察しよう！～

2 単元設定の理由

(4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「1 2 年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実 ～個別最適な学びにおける ICT の具体的活用～」との関わりから、日常的にパワーポイントを活用した授業を展開している。児童 2 名とも提示した映像などを注視することができ、映像や音楽への反応が良い。授業の導入として画像や映像、音楽などを使って期待感をもたせている。また、調べ学習で季節について検索し、気に入った画像をパワーポイントに貼り付けまとめている。本時では導入や流れの確認だけでなく、観察記録をまとめる場面でも活用する。A は大きさが視覚的に分かるように、測った植物の大きさを棒グラフにして前回と比べる。B は数字は分かるが、数が大きくなると大小が分からないことがある。そのため情報整理の学習も兼ね、折れ線グラフに測定した数値を入力し、前回の長さとは比べ記録をまとめる。

さらに、本時では個別に使用する ICT 機器として、A はワイヤレスのスイッチを活用している。線がパソコンと繋がっていないので児童が押しやすい位置に設定できる。A はやりたい気持ちが強くなれば強くなるほど、腕を引き込みやすく、引っ張るスイッチの方が A の動きにあっている。しかし、不随意運動との差を見極めるため、あえて腕を伸ばして押すタイプのスイッチを活用する。B は植物の撮影に WEB カメラを使用し、ピントを合わせることを担当する。WEB カメラで映している映像がスクリーンに映っていることが理解でき、カメラを動かし、被写体にピントを合わせようとすることができる。このような活動を楽しみながら、苦手とする手指の巧緻性を高めることもできると考える。また、WEB カメラと無線スイッチを使うことで、被写体とスクリーンの両方を確認しながらシャッターを押すことができるのもメリットである。

3 単元の指導目標

(1) 単元の共通目標

- 季節について調べたり、植物を観察したりできる。(知識及び技能)
- 季節の変化や特徴に気づき、教師と一緒に友達に伝えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 季節の特徴を探したり、作品を見せ合ったりして友達と一緒に学習できる。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画(本時 六次 5 / 15 時間)

次	時数	主な学習内容	取り扱う教科等及び内容
6	15 時間	○初春について調べよう (1 時間)	○小学部生活 2 段階 サ 生命・自然 ・初春の特徴や他の季節との違いについて知ること。 ○小学部国語 2 段階 A 聞くこと・話すこと ・調べたことを教師と一緒にみんなに伝えようとする こと。 ○小学部国語 2 段階 B 書くこと

	<p>○初春を探しに行こう (1時間)</p> <p>○初春の植物を育てよう (本時)</p> <p>○イチゴジャムを作ろう (1時間)</p> <p>○節分の作品を作ろう (3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことから伝えたいことを選んだり、書いたりすること。 ○小学部生活2段階 サ 生命・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある季節の植物や気候の変化などの特徴を見つけること。 ○小学部国語2段階 A 聞くこと・話すこと <ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化や特徴を探し、見つけたことをみんなに伝えることができる。 ○小学部国語2段階 B 書くこと <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたことから伝えたいことを選んだり、書いたりすること。 ○小学部生活2段階 サ生命・自然 <ul style="list-style-type: none"> ・育てている植物を観察し、成長や変化に気づき、それを教師と一緒に自分なりの方法で伝えようとする ○小学部算数2段階 A 数と計算 <ul style="list-style-type: none"> ・苺の実や葉の数を数えたり、長さを測ったりして前回と比べること。 ○特別活動 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒にジャムを作ること。 ○図画工作1段階 A表現 <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた自然物と粘土を使い、ちぎったり貼り合わせたりして節分の飾りを作ること。
--	--	---

5 本時の学習

(1) 本時の共通目標

○苺を観察しワークシートにまとめることができる。(知識及び技能)

(3) 本時の展開

時間	学習活動	○個別の支援(手立て) ・指導上の留意点 ◇評価の観点		備考
		A	B	
導入 10分	1 あいさつをする	○Aの表出を受け、号令をかける。(T2)	○授業の始まりを意識して姿勢を作るよう声掛けをする(T1)	・ホワイトボード ・模型マイク
	2 「いちごはいちご」を歌う	○サビの部分など、模型マイクを口元に当て合図をする。(T2)	○手拍子でリズムを合わせたがり一緒に歌ったりする。(T1)	
	3 目標の確認をする	<p>めあて 苺の成長を観察記録にまとめよう！</p>		
		・スクリーンに注目するよう声掛けをする。	・スクリーンに注目するよう声掛けをする。	
4 前時の確認	○観察記録の棒グラフの部分	○折れ線グラフを映し、ペンで		

	をする	<p>に注目できるようアップして映す。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 棒グラフが苺の成長に合わせてどう変化していくのか確認する。 	<p>色や線を引き、数値やグラフの線の変化を強調する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苺が成長すると折れ線グラフはどう変わっていくのか確認する。 	
展開 30分	5 観察をする	<ul style="list-style-type: none"> 無線スイッチを手の可動範囲に提示する。(T2) 被写体がスクリーンに映った時に声掛けをし、良いタイミングを伝える。(T2) 押せた時は称賛し、反応を促す。(T2) <p>○Bが実や花の数を数える時に、隣で一緒に数えて再確認する。(T2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 苺がスクリーンに映るよう、WEBカメラの向きなど簡単な声掛けをする。(T1) ○ピントが合わない場合は、教師がお手本を見せたり、一緒にやってみたりする。(T1) 被写体を画面中央に合わせるよう、左右など声掛けをする。 ○茎と定規を合わせ、数値を指さして読みやすくする。(T1) ○実や花の数が数えやすいよう指さす。(T1) 	<ul style="list-style-type: none"> 無線スイッチ WEBカメラ 定規
	6 観察記録をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○Bが測った茎の長さを入力し、棒グラフにする。(T2) 前時の記録と比べ、グラフがどうなったか確認する。 ○棒グラフの変化を比べるよう、大きくなったか小さくなったか質問する。(T2) ○花や実の数を児童と一緒に確認し、観察記録に図を貼り付ける。(T2) ◇観察記録をまとめ、前時との変化に気付き、教師の二者択一の問題に口を大きく開けたり笑顔になったりして、答えることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○折れ線グラフに数値が入力できるよう、再確認する。(T1) 折れ線グラフの変化が分かるよう、線がどうなっているのか質問する。(T1) 茎の変化は長さであることを確認する。(T1) ○かな入力に設定する。(T1) 変化が見つけられるよう、各項目を見比べるよう声掛けをする。 ◇数値を正しく自分で打ち込み、苺のデータを観察記録に入力することができたか。 	
	7 発表する	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフの変化が発表できるよう、アップにして映す。(T2) ○口を大きく開けたら、入力した内容を教師が読み上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○折れ線グラフの変化を発表できるよう、グラフをアップにして映す。(T1) ○発表する部分を指さしたり、線を引いたりして分かるよ 	

		る。(T2)	うにする。(T1)	
ま と め	8 本時の学習 を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに注目するよう 声掛けする。 ・本時の目標を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに注目するよう 声掛けする。 ・本時の目標を再確認する。 	
5 分		<ul style="list-style-type: none"> ・発表した部分を再確認し、 良かった点を称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した部分を再確認し、良 かった点を称賛する。 	
	9 あいさつを する	○Aの表出を受け、号令をか ける。(T2)	○授業の終わりを意識し姿勢 を作るよう声かけをする。 (T1)	

6 本時の評価

(1) 本時の共通目標に係る評価の観点

○それぞれの方法で観察記録をまとめることができたか。(知識・技能)